

ゲートボール競技規則

1. 競技規則 2007年度(財)日本ゲートボール連合会公式競技規則による。
2. 競技種目 ゲートボール競技とする
3. 出場資格 1都7県単位に編成下団体で3チームまで参加できる。但し、開催地はこれを限りでない。
4. チームの編成 (1) チームの編成は、競技者5名以上7名以内とし、年齢・性別の制限はしない。但し5名に満たない時は、ボールは欠番として行う。
(2) 特別な理由(突発的な事故、病気等)がある場合に限り、選手の変更は、今大会実施要項の規定(所定の用紙に理由を明記して大会前日までに提出する)に従って認められる。但し、追加の申込みは一切認められない。
5. 競技方法 (1) 予選リーグ戦4コート3チームのリーグ戦を行う。但し、開催地の地元の会場の状況により、制限はしない。
(2) 順位決定方法は、次の順位による。
勝ち数 得失差 対戦結果 得点率
(3) 各コートの2チームは決勝トーナメント戦に進む。
(4) 決勝戦は、トーナメント戦とする。
6. 使用球 開催地で用意する。
7. 組み合わせ抽選 監督・主将会議において、抽選を行う。
8. 表彰 (1) 優勝チームに優勝カップ(持ち回り)・賞状・メダルを、準優勝チーム・3位チームには賞状・メダルを授与する。
(2) 個人表彰/最優秀選手賞・敢闘賞
9. その他 (1) 雨天決行とする。但し、試合不能の場合は主将会議で決める。
(2) 大雨で試合中止となった場合、本部と審判員と相談で判断に任せること。
(3) コートに通訳をつける。
(4) 8秒ルールの警告は、黄色のカードを掲示する。
(5) 残り時間、15分前、10分前、5分前は、係員アウトサイドライン付近にプラカードで表示する。
(6) スパーク打撃でゲート通過または上がりの時は、手で何番を示した後ゲート通過のゼスチュアをする。
(7) 各コート近外での観戦者は、試合中のチームへの作成指示を行ってはいけない。
(8) スポーツ傷害保険等は、各自において加入しておくこと。